

勝林寺寺報

わが家の元旦

五年男子

遠くのお寺の除夜の鐘をつぎに行つて、帰りの遅かった父は、おかあさんになんべんもなんべんも起こされて、やっとお仮壇の部屋に入つてきました。

おじいちゃんが、「ほんならはじめようか」といつて、家族みんなで「帰命無量」のおつとめをはじめました。

祖父母、父母、姉とぼくと三年の妹と、それから猫のミイとです。

大人はみんな式章というものを着物のうえにかけますが、子供はお数珠だけです。

六時半から7時過ぎまでの「帰命無量」が終わって、それからみんな食堂の部屋で、母と姉とが一生懸命一日も前から作った、お正月のお雑煮やなにかをにぎやかにたべました。

食べる前に、互い互いに、四角張ったご挨拶をするのが昔からのしきたりです。ぼくが「おじいちゃん、あけましておめでとうございます」といたら、「あおめでとう」といつて、そのときおじいちゃんは「お年玉」をくれました。おばあちゃんからももらいました。

ガヤガヤなるべくおめでたいことを話しながらお雑煮をたべているとき、「今年何歳になつた」という話になつて、一段と賑やかになりました。

おじいちゃんが、「いやーまたまた一年をとつてしまつた」と笑いながら言いました。おばあちゃんは、まじめな顔して「ほ

んに、また一つ、年をいただいて」といいました。

ぼくは、おんじことだのに思つたのに、何でも聞きたがりやの妹が、おばあちゃんと聞きました。

「だからお年をいただくの」「おとしよりにあって、年が大きくなること、うれしいの」

おばあちゃんは、にこにこしながら「帰命無量寿如来や、大きな大きな如来さまのいのちをいただいて、ことしも生きさせていただいているのやから」

ぼくは、なんのこっちゃわからなんだけど、なんとなくそうかなと感じました。

おじいちゃんとおかあさんは、うんうんとうなずいておりました。

賑やかなお雑煮が終わって、八時すぎには、みんなでそろつてお年始まわりにでかけました。

勝林寺
仏教青年会

総会

一月四日(日)

午後一時より

協議題①年間行事の経過と計画。

②会計決算と予算案審議

③その他

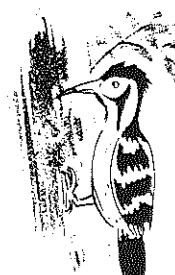
☆当日年間会費一〇〇〇円納入ください。

●云ダーナの日

同様

成人式

おめでとう



中嶋 由佳様(坪口)

立脇 昭広様(丸中)

数森 詩野様(正法寺)

山田 建五郎様(正法寺)

岸下 高志心様(保谷)

大石 昭之様(出合市場)

中川 泉様(鍛冶屋)

斎藤 一憲様(上小田)

田中 智淨様(上小田)

以上九名の成人式を迎えた方に

勝林寺門徒一同、こころからお

慶びと激励を申し上げます。

十五日成人の日に、寺から「お祝いの

ことば」に添えて『歎異鈔』(親鸞聖人の法語集)を贈りました。

二月のことよみ

勝林寺
仏教青年会

勝林寺
仏教青年会

評議員会ご案内

2月11日 午前9時半より

ご相談

- ①行事・会計報告
- ②行事計画
- ③役員改選
- ④その他

評議員様へ

(1)年間会費 九〇〇円とダーナ100円
ご集金のうえ当日納入ください。

☆やむを得ず欠席の場合必ずご連絡下さい。



代議員会報告



面の協賛協議を積み上げて行かねばなりません。それらを統括する門徒総代会の責任とご苦労が期待されます。

最後に、門徒総代改選結果を報告します。任期は4年です。

二十七日(土)午後一時半から「平成八年度」の代議員会が開かれました。殆ど欠席なくあらかじめ全戸配布の議案書について熱心な協議が行われました。

平成七年は、阪神淡路大震災・オーム真理教事件など多難な一年ではありましたが、その中でも、勝林寺にとつては、一応、区切りをつけた年であります。

即ち門主さまからいただいた評価によつて、寺報を軸に作られた一つの結束(サンガ・和合僧)を、門徒全体で確認できました、そういう年であったと思ひます。

そのこともあって、報告された行事並びに諸会計はそのまま承認されました。

平成八年は、新しい勝林寺へ向けての出発の、言わば助走開始の年であります。

住職継職奉告法要と蓮如上人五百回遠忌法要を、当面の目標にして、新たな寺づくりの一歩を踏み出さなければなりません。

そのため山門・鐘楼の修復、寺報・連研等研修の充実など、いろいろな計画が提案されました。また、それとともに経費積み立てや特別寄付、永代経懇志、院号冥加などについても、大枠決定をみました。

しかし、具体的な事業推進のためには、今後、門徒内業者の協議会など、各方を伝にきたであろうのに、用事を言わな

い先に、消えてしまつたと歌つているところに、いかにも新鮮な感覚がうかがわれて、まことにおもしろい。

ところで、あなたのところへ、「わたしはいつもあなたのそばにいるんだよ」というお手紙が、しょっちゅう届いているのをご存じでしょうか。

あなたが、悩み苦しみ、煩惱に振り回されているとき、「ひとりではないんだよ、わたしもあなたといっしょに」というおたよりが届けられているのだけれど、自分のことここに奪われている私。如来様のそのせつない手紙が見えない。

いそいで、「ひとさしゆびのゆびさきに」とだけられた、如来様からの、やさしいおてがみを、ひらいてみましょう。

いま、聞かなければ、「ひとさしゆびで きえちやいますよ」

石見国(島根県)の天藏寺様から、毎月、お寺の新聞をいただいています。今年新年号に載っていた、ちいさな文章です。

ちいさな ゆきが ちらりん ひとつ

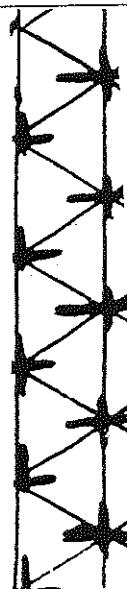
ひとさしゆびに おりてきた
ひとさしゆびの ゆびさきに
てんの つかいの ようにして

ちいさな ゆきが ちらりん ひとつ
ひとさしゆびで きえちゃつた
ひとさしゆびの ゆびさきで
てんの ゆきじは いわないで

(まど みちお)

その名残惜しさを、
わざわざ(せつかく)、天からの用事を言わな

いともに 繕りあいながら
生きようやはやいか。
おのれを立てはいい
必ず報いがくる。



【どんな準備がりますか】

◎少なくとも家族・親族に、年回法事をお勤めすることのできる日を選びましょう。

◎年回に当たる年で、なるべく多くの人々が集まることのできる日を選びましょう。○そのために、なるべく早くお寺と日程の相談をしましょう。

【どうな準備がりますか】

◎少なくとも家族・親族に、年回法事をお勤めすることの準備をすることが一番大切です。全体に周知徹底しよう。

◎お参りの人々とともに気持ちよく仏法を聞けるよう準備しましょう。(このほかに何をしなければならないということはありません)

×豪華・華美なおもてなしは避けましょう。
○こちらを始めた自家製が望ましい。

【お仏壇の莊嚴は】

○報恩講と同じように五具足のお莊嚴。

○蠟燭は(七回忌ぐらいまでは)白。

○焼香盆を用意。経机の右に置く。

○経机の上には「過去帳」以外は何も置かない。(写真は長押)

○親戚からのお供え物などは、床(とこ)に整理をして置く。

【儀式のながれ】

(1)式章と念珠をもつ
(2)おつとめ(唱和できるものー例えは正信偈など)ーはついて詠む。

×日を選んだり月を忌んだりしてはなりません。(仏法を聞くのに日の善し悪しはない)

【その他】
儀式後、お墓へお参りすることもある。